

埼玉中央

社内に保育所も開設

《育児のため、外で働くことをあきらめた母親に在宅で仕事をしてもらい、子育てが一段落したらスムーズに再就職してもらおう。二年前、さいたま市内に事務代行会社「コッコト」を設立し、若い母親たちの就業を支えている。一企業として新しいビジネスモデルを開拓し、高い評価を得た》

二〇〇七年に長男を出産する直前、約十年勤めた会社を辞めました。小さな会社で私は経理部長をしていました。子どもの病気などで休んだりすれば、会社に迷惑をかけると思ったからです。

長男が十カ月になった時、再就職先を探しました。でもやっぱり「急に休まれたら困る」「夜も会議があるから」と断られました。

自由な立場で仕事するには自分が個人事業主になるしかない。と、「ママ友」二人と設立したのがコッコト

さいたま

サロン



みやもと・なおみ

さいたま市北区在住、34歳。昭和女子大短期大学部卒業。中古車販売会社の経理部長などを経て、2008年に「コッコト」(さいたま市中央区上落合3)を設立。将来性のある起業家として、県の09年度「いちおし『起』業プラン大賞」優秀賞を受賞。今年11月には「第5回ニッポン新事業創出大賞」で「アントレプレナー部門特別賞」を受賞。夫と長男、長女、母親の5人暮らし。

事務代行会社「コッコト」社長
宮本直美さん

子育てママに仕事を

トです。偶然、複数の企業から経理事務を請け負うことができたのですが、人手が必要になり、ママを対象にセミナーを開いて仕事仲間を募りました。

《セミナーの出席者と育児中の働き方について意見交換し、コッコトのビジネスモデルを固めた》

子どもの預け先が見つからず、フルタイムで働けないママには在宅勤務のニーズが高い。そこでコッコト

で働くスタッフは登録制とし、会社が請け負った仕事の中から、スタッフの経験やスキルに応じて仕事を割り振ることにしました。

現在の登録者は百五十人。一つの仕事を多くのスタッフに分担してもらうので、一人の月収は二万〜三万円ぐらいです。ただ、再就職を目指すママの大きな心配事は、子育て中のプログラミング。「わずかな収入でも仕事を続けていければ、再就職に有利」と、多くの人が登録してくれました。

《〇九年二月には、スタッフの子どもを預かる保

育室(定員九人)を本社事務所に開設した。中小企業では珍しい企業内保育所だ》

一時預かりの保育所が少なく、民間の託児所は費用が高い。スタッフから「社内に保育所がほしい」との要望も強く、思い切った取り組みました。年間約六百万円の運営費は大きな負担ですが、より優秀なスタッフを集めるためのPRになる

最近の仕事は、ホームページの文章の校正やデザインのチェックなどIT分野が中心です。取引先は約八

夫が青森出身で、社名は東北弁で子どもを意味する「こっこ」にちなみ、「子どもと」一緒に成長していく会社との願いを込めます。

私は働くことが楽しいし、ずっと働きたい。私が仕事をしている姿は、私の二人の子にいい影響を与えると信じています。だから仕事が好き女性を応援したい。スタッフのママたちには、再就職を実現するステップにしてほしいです。

(杉本慶一)